

車両侵入抑止の現況と 対応状況等について

目次

1. 車両侵入抑止対策の概要	1
2. 車両侵入抑止の現況	3
(1)たまり池	3
(2)たまり池周辺	4
(3)下流域ゾーン掘削エリア	5
(4)砂礫河原	6
3. 今後の対策(案)	7

1. 車両侵入抑止対策の概要

車両侵入抑止対策

ハード対策

第1のバリア 盛土設置
または立入防止柵

継続
実施中

第2のバリア 水路の掘削

継続
実施中

第3のバリア 河岸マウンドの除去

継続
実施中

第4のバリア 局所的な対策
(保全エリア)

適宜
実施

+

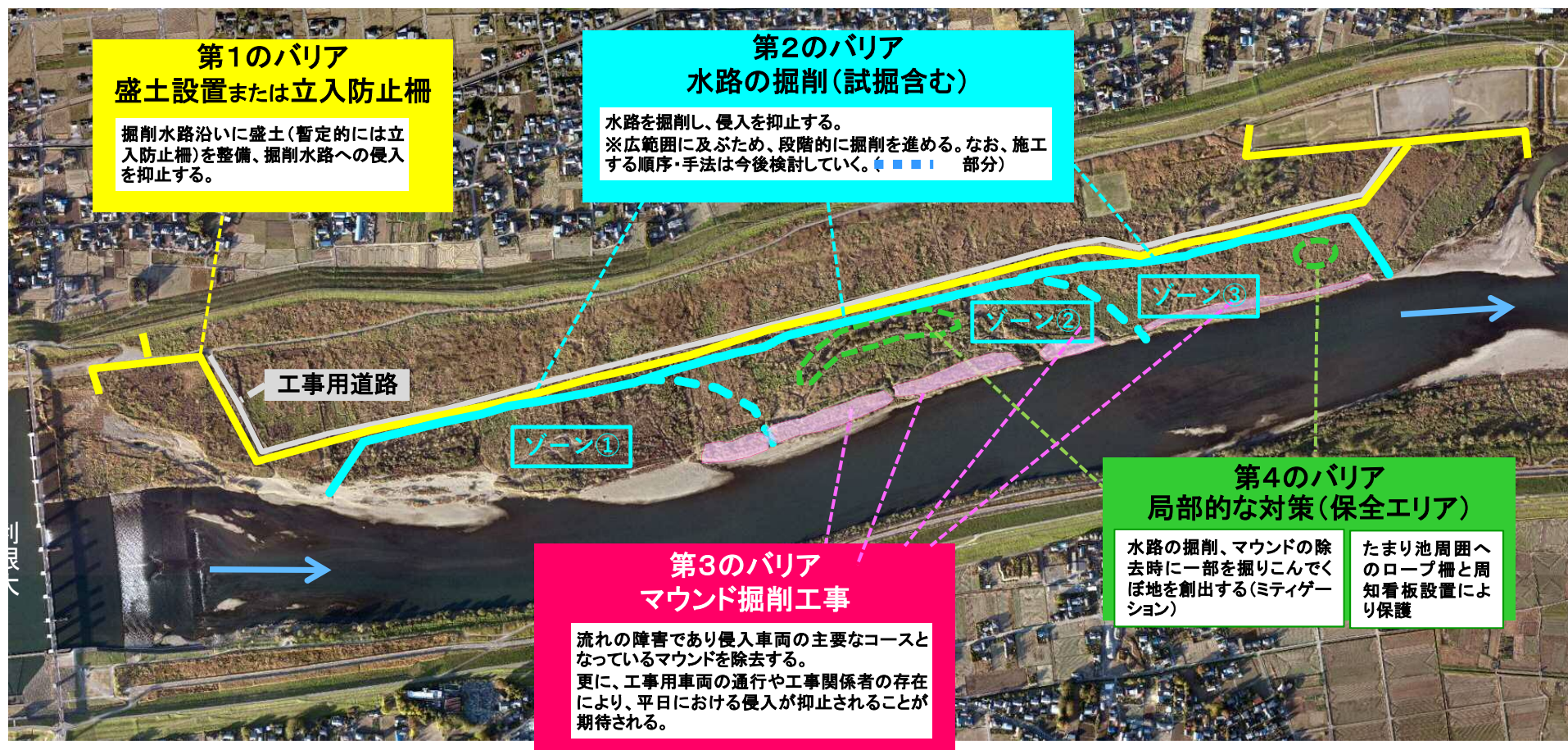
ソフト対策

- 看板設置、ホームページでの周知、ちらし配付等による周知
- 侵入状況の確認

継続
実施中

対策の実施位置(全体イメージ案)

※H27度提示資料



<対策実施上の考え方・留意点>

- エリアが広大なため工事が長期にわたることから、侵入抑止対策についても、**工事の進捗状況・内容、現地の状況にあわせた対策**を講じるものとする。
- 現状の地形、地下水位や、自然環境調査結果等を踏まえ、掘削を進める。
- **表土**は仮置きし、掘削後の場所に撒き戻す。(流路部分は撒き戻さない)

2. 車両侵入抑止の現況

(1)たまり池 近年、侵入は確認されていなかったが、今夏、侵入跡が確認された。



↑ ↑
わだちと思われる痕跡が、たまり池入り口から奥に向かって続いていた。



継続的な侵入の痕跡は確認されなかった。

8月に、たまり池内部でもわだちあとが確認された。ただし、だれが見ても分かるほど明瞭なわだちではなかったことから、内部への侵入は多くはなかったと推測される。

(2) たまり池周辺

たまり池の周辺で車両侵入の形跡が確認された。

- たまり池周辺では、8月の調査時、たまり池内も含め、今年度夏になってからの侵入によるわだちが確認された。
- 10月の調査時：台風24号(10/1)による増水直後ということもあってか、わだちは目立たなくなっていた。



(3) 下流域ゾーン掘削エリア



- たまり池周辺のわだちは、下流の掘削エリアに続いており(左写真参照)、水位の低い時に下流の侵入抑止柵のないエリアから侵入したと推測される。
- 掘削エリアで確認されたわだちは、たまり池周辺ほど明瞭ではないものの、四輪だけでなく、二輪車のものも確認されている。

(4) 砂礫河原

昨年度から今年度にかけて、侵入は確認されていない。



- 侵入抑止直後は二輪車(オフロード)の侵入がみられることがあったが、近年は、わだち等の侵入痕跡は確認されていない。

3. 今後の対策(案)

- モニタリング調査および河川巡視の際の進入状況の確認
- 侵入継続確認されるようであれば、侵入箇所へのロープ、看板等の設置
- 湿地整備エリアの進入抑止、自然環境保全への協力依頼の呼びかけ(ちらしの配布等)